

## 指定管理者管理運営状況評価

施設名	千葉県日本コンベンションセンター国際展示場
指定管理者	株式会社幕張メッセ
指定管理期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和2年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	商工労働部 経済政策課

### 1 施設の設置目的等

設置目的	県は、技術、情報、文化等の国際交流を促進する国際見本市その他の催しの場を提供することにより、本県の産業の振興及び文化の発展を図るとともに、本県の国際化に資するため、日本コンベンションセンター国際展示場（以下「国際展示場」という。）を千葉市美浜区中瀬二丁目一番に設置する。
指定管理者が行う業務の範囲	①国際見本市、展示会その他の催しのための施設の提供 ②会議、研修等のための施設の提供 ③その他国際展示場の設置の目的を達成するために知事が必要と認める業務

### 2 施設の運営状況

年度	利用 ホール数 ※1	事業費等の内訳（千円）				
		指定管理料 (A)	その他維持管 理費(B) ※2	事業費総額 (A+B)	使用料等 県収入(D) ※3	県の収支 (D-A-B)
R2	846.0	1,540,000	926,656	2,466,656	3,289,801	823,145
(参考) R1	2,636.0	1,526,000	4,448,324	5,974,324	6,925,132	950,809

※1 カウント方法：各展示ホールを1日利用したとき1ホールとカウントする。

※2 光熱水費、施設整備費、消費税等

※3 国際展示場使用料等、諸収入、前年度繰越金、駐車場使用料

### 3 管理運営状況評価

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	A	施設の設置目的を尊重し、千葉県日本コンベンションセンター国際展示場設置管理条例をはじめとする関係法令を遵守した管理運営がなされた。 また、県への定期的な報告や日常の相談・連絡等も適切に行われた。
	A	防災訓練に加え、県・市・県警等と連携してテロ発生を想定した国民保護図上訓練検討協議会などに参加し、大規模集客施設としての安全管理体制の強化を図った。 また、イベント開催時に主催者に対して安全対策の指導を行うなど事故等の防止にも努めた。
	A	事業計画に沿って、清掃・警備等を実施した。 また、未収金発生の未然防止も含め、利用承認や使用料徴収等の事務を適正に行った。

	適切な財産管理	A	施設・設備の保守点検、小規模修繕及び備品の管理、消耗品の交換等を的確に実施した。
事業の企画運営に関する事項	サービスの向上・自主事業・地域の連携等	A	関係機関への届出に関する支援や臨時駐車場の確保・運用など、利用者の要望に適切に対応した。 また、冬季イルミネーションの実施や千葉市の国家戦略特区の活用など、地域との連携強化にも努めた。
施設利用状況に関する事項		A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベントの開催には多大な影響を受けたが、他施設で開催延期、中止となったイベント等の情報を入手し、営業活動を行った結果、他施設で開催予定であった展示会の誘致に成功したほか、広い会場を活かした各種試験会場としての利用や無観客コンサート等の誘致に成功し、846（前年度2,636）ホールの施設稼働を確保することができた。
運営体制		A	施設の管理運営に必要な人員を適切に配置した。 また、運営ノウハウの向上を図るため、研修等により職員の資質向上を図った。
収支状況 財務状況		A	施設の管理運営に要する経費は、指定管理料の範囲内に納まっている。 また、指定管理者の財務状況は健全である。
利用者意見の反映 利用者満足度		A	施設利用者や来場者からの要望に対して、実施可能なものについては、適切に対応している。
総合評価		良好	各項目の合計点数 18点 / 27点 各項目の評価点数の平均点 2.0点

特記事項	特に評価される点	コロナの影響を受けたものの、広い会場を活かした各種試験会場としての利用など、施設の特性を活用した利用促進が図られた。 また、冬季イルミネーションの実施や千葉市との連携強化により、幕張メッセのみならず、幕張新都心全体の魅力向上に努めた。
	次年度に向けて改善が望まれる点	コロナ終息後を見据えて、利用促進を図るため、引き続き既存産業展示会・イベントの継続開催及び利用分野の拡大に努めていくことが重要である。
	前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	前年度評価において、「県と連携して組織委員会との協議・利用調整等を進めていく必要がある。」とされた点について、組織委員会との協議・利用調整などを県と連携して円滑に実施した。 また、「引き続き既存産業展示会・イベントの継続開催及び利用分野の拡大に努めていくことが重要である。」とされた点について、既存展示会の継続誘致に加え、新規展示会・各種試験・音楽コンサート等の誘致に努めた結果、846（前年度2,636）ホールの施設稼働を確保することができた。

■各項目の評価の基準

各項目について、「S、A、B、C」で評価する。

基 準	評価	対応数値
事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ：110%以上	S	3
ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ：90%以上～110%未満	A	2
一部分を除き、事業計画どおりである 一部分を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ：70%以上～90%未満	B	1
事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ：70%未満	C	0

■総合評価の基準

各項目の評価を表2「対応数値」に従い数値化し、以下に当てはめ総合評価を行う。

総合評価	基 準
優 良	・すべての項目が2.0以上で、各項目の数値の平均が2.5以上の場合
良 好	・各項目の数値の平均が2.5以上であるが1.0以下の項目がある場合 ・各項目の数値の平均が2.0以上 2.5未満の場合（ただし、1.0以下の項目は全体の3割以内）
一部良好でない	・各項目の数値の平均が2.0以上だが、1.0以下の項目が全体の3割を超える場合 ・各項目の数値の平均が1.5以上 2.0未満の場合
良好でない	・各項目の数値の平均が1.5未満の場合 ・0点の項目がひとつでもある場合 ・重要項目（※の項目）に1.0以下の項目が一つでもある場合。 ・1.0以下の項目が全体の7割以上の場合